



「たけまるノート」の使い方

1

保護者が「たけまるノート」を受け取る

「生活支援センターあすなろ」か「生駒市障がい福祉課」で、「たけまるノート」の目的・留意事項・書き方などの説明を受け、ノートを受け取ります。

(個別で説明する他、勉強会等を開催します。)



窓口での個別説明



「たけまるノート」使い方説明会

「たけまるノート」の利用を希望する
障がいや発達に不安があるお子さんの
保護者を対象に配布します。



配布するのは冊子のみです。ファイルはご自身でご準備ください。

A4 リングファイルが便利です。

2

まず保護者が「たけまるノート」を手にされた 支援者へのお願い(p.2)と「保護者記入欄」に記入する

受け取り時点のお子さんの年齢のところまで、可能な範囲で記入します。お子さんの成長記録のデータなどがあれば、「たけまるノート」にはさんだりしましょう。



記入箇所

3 支援者に読んでもらう

お子さんに関わる支援者等に、お子さんを理解し支援してほしいと思う場合に「たけまるノート」を提示し、読んでもらいましょう。(いつ読んでもらうかは次のページの表を参考にしてください。)

年度途中で担任・支援者がかわられたら、持参して読んでもらいましょう。



保育所、こども園、幼稚園、学校、(障がいによる通院の)診察・検査・訓練、
福祉サービスでの通所事業所やヘルパー事業所等

4 支援者に記入して(書類をはさんで)もらう

上記3の支援者等に、お子さんの状況・支援の内容・支援者の連絡先を記入してもらいましょう。(いつ記入してもらうかは次のページの表を参考にしてください。)

※各支援機関で使用している支援計画等を
はさみ、記入の手間を省いていただいても
構いません。



● 進級・進学する時等、新担任の参考になりますので、なるべく引き継ぎ

前の時期に、旧担任にお子さんの状況を記入してもらうとよいでしょう。

● 医療機関や福祉サービスの事業所等にも、各学年の節目や通う先が変更

する際などに記入してもらうとよいでしょう。

担任の先生・支援者の方へ

- 保護者がたけまるノートを持参されたら、お読みいただき子どもの理解のためにご活用ください。
- 3学期に保護者が持参されたら、読んでいただくとともに新年度への引継ぎのために、今時点の子どもの様子をお書きください。
- ご記入の際は、子どもの現状だけでなく、具体的な配慮の仕方なども記入してください。例えば、子どもの苦手な所などは「～できない」だけでなく、こうすればできるといった具体的な支援・工夫などもご記入ください。
- 個別の支援計画書などをはさみ、記入の手間を省いていただいても構いません。
- 担当者名や連絡先が明記されていますので、保護者の了承を得た上で、直接問い合わせていただくなど支援にお役立てください。



たけまるノート利用の流れ

保護者の動き	たけまるノートをもらった時期	
	1・2学期の場合	3学期の場合
①保護者記入		すぐ記入
②担任・支援者に 全て読んでもらう	すぐ持参し、 読んでもらう 1冊全て持参する	3学期の2月頃に 持参し、読んでもらい、 記入してもらう
③担任・支援者に 記入してもらう	3学期の2月頃に 持参し、記入して もらう	<p>担任・支援者に、受け渡す時期を 確認しておきましょう</p> <p>※概ね年1回(年度末に)記入してもらいましょう</p>
④次の新しい担任・ 支援者に持参し、 読んでもらう	新学期4月頃に 持参し、 読んでもらう	<p>1冊全て持参する</p>

*次年度以降も同じ流れで利用してください。

*たけまるノートは、保護者が管理し、担任・支援者と受け渡しの時期を確認しましょう。